

(令和6年度 一般選抜 [後期日程] )

# 入 構 許 可 申 請 書

令和 6年 月 日

岩 手 大 学 長 殿

(申請者)  
学生証番号\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_学部\_\_\_\_\_学科・課程\_\_\_\_年次

\_\_\_\_\_研究科\_\_\_\_\_専攻\_\_\_\_年次

氏名\_\_\_\_\_

下記の理由により、一般選抜 [後期日程] に係る入構規制日に入構したいので、許可願います。

記

入館日時及び場所 (例：3月○日△時～△時 ○学部○号館○○研究室)

..... 3月.....日(.....).....時～.....時.....

理由 (詳細に記入してください。)

.....  
.....  
.....

上記の者について、入学試験に影響を与えないよう指導しますので、入構等を許可願います。

指導教員等\_\_\_\_\_印

コース長・専攻長・プログラム長、入試委員\_\_\_\_\_印

○入構規制

(1) 3月12日(火)(理工学部は3月11日(月)17時～3月12日(火)まで)は、**原則として入構を禁止**します。

(2) 特別な理由により入構等しなければならない者は、「入構許可申請書」に入構等理由等を記入し、**3月6日(水)17時**までに、裏面記載のとおり、所属先の許可を得たうえで、各担当窓口申請し、リボンを受け取ってください。

なお、入構等中は必ずリボンを着用してください。

※ コース長・専攻長・プログラム長(理工学部・理工学研究科・総合科学研究科の一部)と、入試委員(農学部)は裏面に掲載しています。

※ 申請受付期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受理しません。

※ リボンの再交付はしません。

※ **リボンは、3月15日(金)までに学生センターA棟窓口へ必ず返却すること。**

リボンの返却	年 月 日
--------	-------

## <学部>

- ・人文社会科学部 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟③窓口に申請
- ・教育学部 原則として入構禁止
- ・理工学部 指導教員等及びコース長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請
- ・農学部 指導教員等及び入試委員の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

## <大学院総合科学研究科>

- ・総合文化学専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟③窓口に申請
- ・地域創生専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟⑤窓口に申請  
(ただし、金型・鋳造プログラムと社会基盤・環境工学プログラムは指導教員等とプログラム長の署名・押印)
- ・理工学専攻 指導教員及びコース長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請
- ・農学専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

## <大学院教育学研究科>

- ・教職実践専攻 原則として入構禁止

## <大学院理工学研究科>

- 指導教員等及び専攻長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

## 理工学部 コース長

化学・生命理工学科	(化学コース)	是永 敏伸
〃	(生命コース)	富田 浩史
物理・材料理工学科	(数理・物理コース)	石垣 剛
〃	(マテリアルコース)	内藤 智之
システム創成工学科	(電気電子通信コース)	高木 浩一
〃	(知能・メディア情報コース)	永田 仁史
〃	(機械科学コース)	内館 道正
〃	(社会基盤・環境コース)	大西 弘志

## 理工学研究科 専攻長

自然・応用科学専攻	是永 敏伸
システム創成工学専攻	永田 仁史
デザイン・メディア工学専攻	今野 晃市

## 総合科学研究科 プログラム長・コース長

<b>(地域創生専攻)</b>	
金型・鋳造プログラム長	西村 文仁
社会基盤・環境工学プログラム長	大西 弘志
<b>(理工学専攻)</b>	
物質化学コース	是永 敏伸
生命科学コース	富田 浩史
数理・物理コース	宮島 信也
材料科学コース	吉本 則之
電気電子通信コース	高木 浩一
機械・航空宇宙コース	花原 和之
知能情報コース	永田 仁史
デザイン・メディア工学コース	今野 晃市

## 農学部 入試委員

植物生命科学科	畠山 勝徳	
応用生物化学科	宮崎 雅雄	
森林科学科	東 淳樹	
食料生産環境学科	〔農村地域デザイン学コース〕 〔食産業システム学コース〕	前田 武己
〃		(水産システム学コース)
動物科学科	西向めぐみ	
共同獣医学科	大沼 俊名	森田 智也